

門真市文化芸術振興に関するアンケート調査結果

平成 21 年 3 月

門真市

調査の概要

1. 目的

アンケートは、市民の文化芸術に対する意識や行動、文化芸術振興に望むことなどを把握することを目的として行った。さらに、門真の文化芸術を知り考えてもらうきっかけとなるよう配慮し、アンケートそのものが文化芸術振興につながることをめざした。

また、文化的視点を持った行政運営や文化活動支援を行う主体である市職員や、実際に文化活動を行っている文化団体に対しても同様の調査を行った。

2. 対象者数、配布回収方法、調査時期

	対象者数	配布回収方法	配布日	締め切り	回収日
市民	850人	郵送配布、郵送回収	12/1	12/14	12/26
職員	950人	各課に手渡し、担当課で受取回収	12/1	12/12	12/26
団体	300人	団体代表へ手渡し、担当課で受取回収	11/28～12/11	12/19	12/26

3. 回収率

回収率は、市民約22%(187件)、職員約68%(643件)、団体約69%(206件)であった。

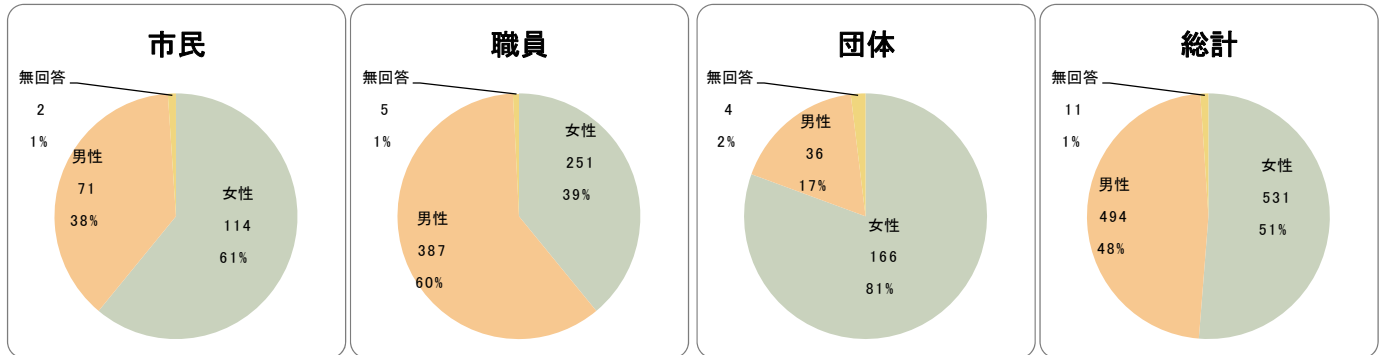
項目	市民	職員	団体	総計
送付数	850	950	300	2,100
回収数	189	666	212	1,067
有効回答数	187	643	206	1,036
回収率	22.2%	70.1%	70.7%	50.8%
有効回収率	22.0%	67.7%	68.7%	49.3%

(有効回収率は無効な回答(属性のみの記入者等)を除いた回収率)

回答者属性(性別、年代、職業、家族構成、居住年数)

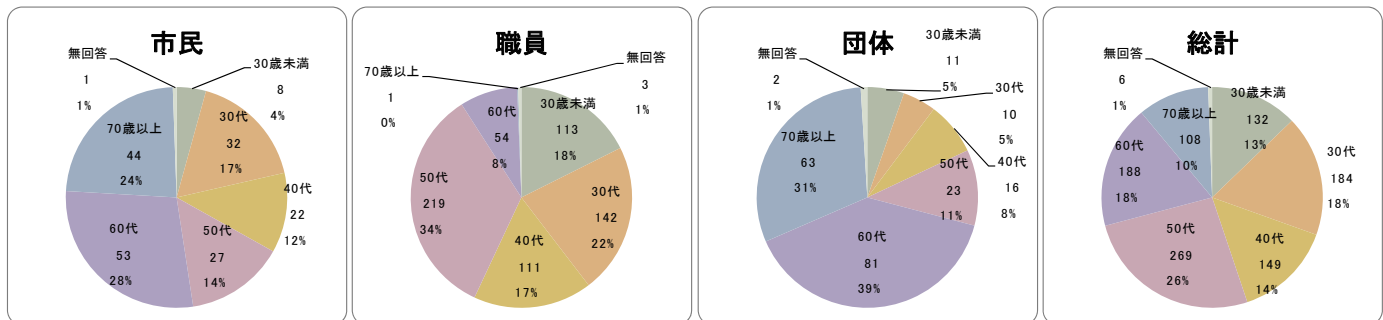
1. 性別

市民、団体は女性回答者が多く、それぞれ約61%、81%を占めた。職員の回答者は約60%が男性であった。



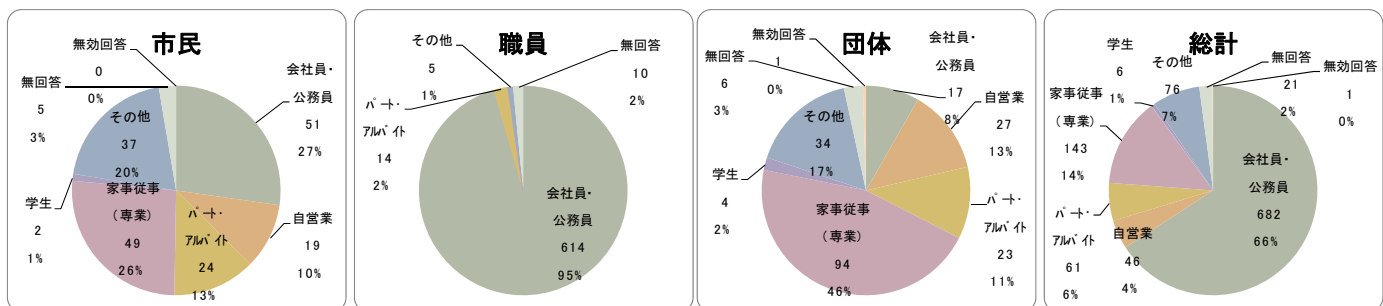
2. 年代

- 市民は「30歳未満」が少なく、60歳以上が約52%を占める。
- 職員は「30歳未満」から「50代」までバランス良く回答が得られている。60歳以上の回答は少ない。
- 団体は、60代以上が回答者の7割を占めている。



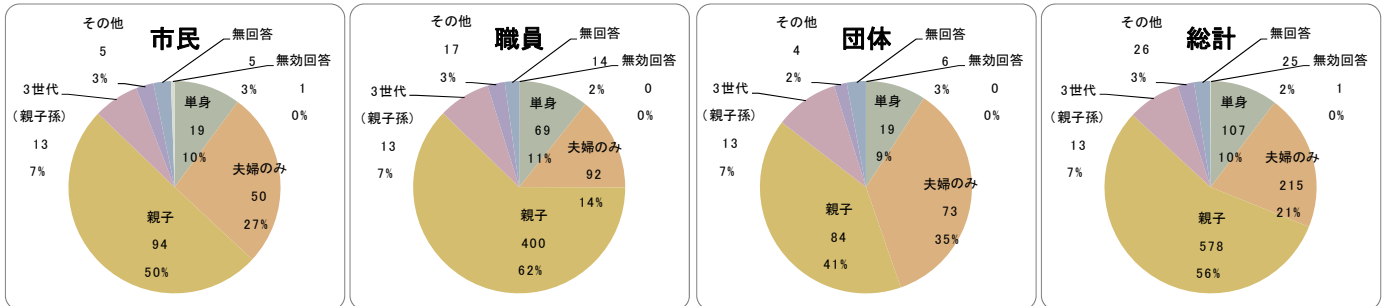
3. 職業

- 市民は、「会社員・公務員」「家事従事」が多く、およそ4分の1ずつである。学生回答者は約1%にすぎない。
- 団体は、「家事従事」がおよそ半数を占め、学生は約2%にすぎない。



4. 家族構成

それぞれ「親子」が最も多く、次いで「夫婦のみ」、「単身」となっていた。「3世代」はいずれも1割以下であった。



5. 市内居住年数

- 市民では、40～45年が最も多く16%を占めている。
- 職員は無回答者が最も多く、その多くは市外在住者と考えられる。
- 60歳以上が70%以上を占めている団体においては、40～45年が最も多く約21%であった。

市内居住年数	市民	職員	団体	総計
5年未満	7.5%	8.7%	0.5%	6.9%
5年以上10年未満	3.7%	1.2%	2.4%	1.9%
10年以上15年未満	10.7%	3.7%	2.4%	4.7%
15年以上20年未満	3.7%	2.3%	4.9%	3.1%
20年以上25年未満	9.6%	2.8%	8.3%	5.1%
25年以上30年未満	8.0%	5.3%	9.2%	6.6%
30年以上35年未満	11.2%	4.4%	9.7%	6.7%
35年以上40年未満	15.0%	3.4%	10.2%	6.9%
40年以上45年未満	16.0%	6.2%	20.9%	10.9%
45年以上50年未満	3.7%	0.9%	11.7%	3.6%
50年以上55年未満	2.7%	2.2%	6.3%	3.1%
55年以上60年未満	0.5%	1.9%	1.0%	1.4%
60年以上65年未満	2.7%	0.9%	3.4%	1.7%
65年以上	3.2%	0.2%	5.3%	1.7%
無回答	1.6%	55.8%	3.9%	35.7%

集計結果

1. 行っている文化的な活動(いくつでも)

- 「特に文化的な活動は行っていない」と答えた市民、職員の割合はそれぞれ、27.6%、24.3%と、文化団体の3.0%に比較して高くなっている。
- 団体は団体活動への参加以外の文化活動においても、市民、職員に比較して高い割合を示している。中でも、「地域のまつりやイベントへの参加」(43.7%)や「舞台や演奏会に参加する」(39.6%)、「花を飾る」(34.0%)、「美術館や作品展へ足を運ぶ」(33.5%)が市民、職員に比べて高い割合となっている。
- その他の文化活動として、地域活動やボランティアに関するもの、スポーツなどが多く挙げられていた。

行っている文化的な活動	N=				総計
	市民	職員	団体	170	
家や職場で花を飾る	23.5%	21.1%	34.0%	606	24.2%
音楽を聴きながらゆったりと過ごす	27.6%	32.5%	23.4%	197	29.8%
文学作品や小説などを読む	20.6%	29.2%	20.3%	973	25.9%
まちなかで景色を楽しんだり写真を撮影したりする	14.7%	17.5%	14.2%		16.3%
映画館に足を運ぶ	26.5%	38.6%	29.9%		34.7%
地域のまつりやイベントに参加する	24.7%	20.8%	43.7%		26.1%
美術館や作品展へ足を運ぶ	19.4%	23.9%	33.5%		25.1%
舞台や演奏会に参加する	8.2%	11.6%	39.6%		16.6%
外国語などを習っている	1.8%	4.3%	3.6%		3.7%
生涯学習講座などに参加している	7.1%	2.8%	7.6%		4.5%
文化関係のサークル活動や団体に参加している	14.7%	9.2%	68.0%		22.1%
特にしていない	27.6%	24.3%	3.0%		20.6%

(参考)

- 何らかの文化活動を行っている人と「特にしていない」と答えた人の平均居住年数を比較すると、3者すべてにおいて文化活動を行っている場合の居住年数が高くなっていた。

文化活動と門真市内の平均居住年数の関係

文化活動の有無	市民	職員	団体	総計
文化活動をしている人	31.1	26.4	37.0	31.5
文化活動をしていない人	26.7	24.3	35.8	25.7

単位:年

2. 文化活動を始めたきっかけ(2つまで) / 何らかの活動を行っている人と答えた人に対する設問

- 「広報紙など市役所の発信する情報」がきっかけになったケースは、職員の9.6%に比較して、市民と団体でそれぞれ36.6%、50.0%と高い割合を示しており、市が発信する情報が注目されていることがわかった。
- 「情報誌やチラシ」などがきっかけとなった割合は、市民と職員でそれぞれ40.2%、47.5%と高いが、団体においては8.6%と低くなっている。
- 「知人が活動を行っていた」、「家族・知人に勧められた」と答えた割合は、3者で比較的高い割合となっており、人的交流が文化活動のきっかけになることがわかった。
- その他のきっかけとして、健康のため、仕事を通じて、時間に余裕ができた、などが多く挙げられていた。

	N=	82	343	152	577
文化活動のきっかけ	市民	職員	団体	総計	
広報紙など市役所の発信する情報を見て	36.6%	9.6%	50.0%	24.1%	
情報誌やチラシなどを見て	40.2%	47.5%	8.6%	36.2%	
ホームページなどを見て	6.1%	15.7%	2.6%	10.9%	
家族がやっているから	13.4%	14.3%	7.2%	12.3%	
知人がやっているから	20.7%	19.2%	33.6%	23.2%	
家族・知人に勧められて	15.9%	23.3%	21.1%	21.7%	
体験コースなどに参加しておもしろかったから	8.5%	3.5%	9.9%	5.9%	

3. 文化的な活動にお金をかけているか / 何らかの活動を行っている人と答えた人に対する設問

- 市民は職員、団体に比較して最も「お金をかけていない」(34.5%)割合が高く、「お金をかけている」(20.2%)割合が低くなっている。
- 団体は市民、職員に比較して最も「お金をかけている」(48.4%)割合が高く、「お金をかけていない」(12.1%)割合が低くなっている。

	N=	119	456	182	757
文化的な活動にお金をかけているか	市民	職員	団体	総計	
お金をかけている	20.2%	33.6%	48.4%	35.0%	
ふつう	45.4%	39.9%	39.6%	40.7%	
お金をかけていない	34.5%	26.5%	12.1%	24.3%	

4. 活動を行う上での課題(3つまで) / 何らかの活動を行っている人と答えた人に対する設問

- 市民では、「特に課題はない」と答えた人が最も多く37.5%、次いで「身近に活動できる場所がほしい」(31.8%)、「安価な活動場所がほしい」(21.6%)、「活動できる場所を知りたい」(20.5%)となっている。
- 職員では、「身近に活動できる場所がほしい」と答えた人が最も多く31.1%、次いで「特に課題はない」(30.6%)、「安価な活動場所がほしい」(30.3%)、「活動できる場所を知りたい」(20.0%)となっている。

- 団体では、「活動仲間を増やしたい」(37.2%)と答えた人が最も多いほか、「子どもや若者にも参加してほしい」(22.6%)の割合も高く、仲間や参加者を増やすことへの課題意識が高くなっている。一方、「他団体と連携したい」という課題意識は低く2.2%となっていた。また、「活動できる場所を知りたい」は4.4%と低く、活動場所についての情報はすでに把握されていると考えられる。
- その他の課題として、市民では活動費用に関すること、職員では時間に余裕がないことや子育て中であること、情報が不足していることなど、団体では活動場所確保等の手続きが複雑であること、地域イベントや活動情報が不足していることなどが挙げられていた。

	N =	88	360	137	585
活動を行う上での課題	市民	職員	団体	総計	
活動できる場所を知りたい	20.5%	20.0%	4.4%	16.4%	
場所が足らず取り合いになる	5.7%	6.1%	16.1%	8.4%	
身近に活動できる場所がほしい	31.8%	31.1%	20.4%	28.7%	
安価な活動場所がほしい	21.6%	30.3%	36.5%	30.4%	
活動の機会を増やしてほしい	9.1%	11.4%	11.7%	11.1%	
駅前や広場など公共の場で活動してみたい	4.5%	1.9%	0.7%	2.1%	
もっと活動仲間を増やしたい	8.0%	8.6%	37.2%	15.2%	
子どもや若者にも参加してほしい	6.8%	7.8%	22.6%	11.1%	
他の団体と連携したい	0.0%	1.1%	2.2%	1.2%	
活動をPRする場所や機会がほしい	3.4%	2.5%	11.7%	4.8%	
運営資金が足りない	11.4%	9.4%	18.2%	11.8%	
特に課題はない	37.5%	30.6%	13.9%	27.7%	

5. 活動していない理由(2つまで) / 特に活動していないと答えた人に対する設問

- 市民、職員とも「時間的余裕がない」が最も多く、それぞれ45.7%、51.0%であった。次いで「興味がないから」(21.7%、41.3%)と答えた無関層が多かった。次に「金銭的余裕がないから」(19.6%、16.1%)であった。
- その他の理由としては健康上の問題や高齢であること、介護をしないといけないからなどが挙げられていた。

	N =	46	143	5	194
活動しない理由	市民	職員	団体	総計	
活動団体、講座など、参加情報がないから	8.7%	2.1%	0.0%	3.6%	
活動仲間がないから	10.9%	5.6%	0.0%	6.7%	
活動する場所がないから	0.0%	0.7%	0.0%	0.5%	
活動したい内容の団体や講座などがないから	4.3%	5.6%	0.0%	5.2%	
見てくれたり評価してくれる相手がないから	0.0%	1.4%	0.0%	1.0%	
時間的余裕がないから	45.7%	51.0%	80.0%	50.5%	
金銭的余裕がないから	19.6%	16.1%	20.0%	17.0%	
興味がないから	21.7%	41.3%	80.0%	37.6%	
その他	17.4%	6.3%	0.0%	8.8%	

6. 知っている門真の文化資源(いくつでも)

- 市民では、「ルミエールホール」(91.7%)が最もよく知られていた。一方、「門真市文化祭」を除く文化イベントがあまり知られていなかった。「知っているものはない」と答えた割合は2.8%であった。
- 職員では、市民、団体と比較して多くの資源が知られており、全ての項目で市民を上回っている。
- 団体では、文化イベントにおいては職員以上に知られていた。
- その他の資源として、なみはやドームや松下電器歴史館、モノレール、海洋堂、古川橋変電所などが多く挙げられていた。

	N =	181	619	192	992
知っている文化資源	市民	職員	団体	総計	
ルミエールホール	91.7%	94.0%	96.9%	94.2%	
中塚荘	39.8%	78.0%	74.5%	70.4%	
門真市立歴史資料館	46.4%	80.0%	64.6%	70.9%	
河内レンコン	70.7%	83.4%	79.7%	80.3%	
バッテリー	34.3%	58.8%	45.3%	51.7%	
段蔵	6.1%	25.8%	19.8%	21.1%	
砂子水路の桜	59.7%	76.6%	67.2%	71.7%	
薫蓋樟(薫蓋クス)	39.2%	70.4%	51.6%	61.1%	
桜広場	3.3%	8.6%	12.0%	8.3%	
願得寺	26.5%	50.1%	53.1%	46.4%	
黄梅寺	8.8%	25.0%	13.0%	19.8%	
一休さんの生母の墓	21.5%	39.9%	32.3%	35.1%	
茨田の堤	30.9%	56.9%	47.9%	50.4%	
幣原喜重郎	17.7%	55.4%	35.4%	44.7%	
守口・門真ジャズフェスティバル	21.0%	43.1%	32.8%	37.1%	
門真市文化祭	44.8%	54.6%	87.5%	59.2%	
門真市民ミュージカル	11.0%	26.3%	32.8%	24.8%	
門真吹奏楽フェスティバル	9.9%	20.4%	30.2%	20.4%	
門真合唱フェスティバル	12.2%	20.8%	34.4%	21.9%	
るみえーる亭	12.2%	25.4%	31.8%	24.2%	
この中に知っているものはない	2.8%	0.8%	0.0%	1.0%	

7. 門真のイメージ(2つまで)

- 市民、職員、団体とも、「文化住宅のまち」や「これといった特徴がないまち」、「他地域からの居住者が多いまち」が多く回答されていた。
- 文化芸術に関する特徴や活気、自然といった特徴を有するまちと答えた割合は総じて低かった。

	N =	140	481	118	739
門真のイメージ	市民	職員	団体	総計	
文化・芸術は遅れているまち	18.6%	18.5%	29.7%	20.3%	
これといった特徴がないまち	30.0%	27.0%	22.9%	26.9%	
水郷の面影があるまち	13.6%	8.1%	11.0%	9.6%	
企業城下町	17.9%	23.9%	11.0%	20.7%	
文化住宅のまち	37.1%	43.0%	29.7%	39.8%	
芸術的な印象のあるまち	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
隠れた文化芸術資源があるまち	2.1%	0.8%	6.8%	2.0%	
著名人を輩出したまち	0.7%	1.9%	8.5%	2.7%	
他地域からの居住者が多いまち	24.3%	31.2%	23.7%	28.7%	
日本の縮図のようなまち	1.4%	2.9%	0.8%	2.3%	
いろいろな芸人の出身地	1.4%	0.2%	0.0%	0.4%	
活気のあるまち	1.4%	1.5%	4.2%	1.9%	
下町情緒のあるまち	7.1%	4.8%	8.5%	5.8%	
自然があるまち	1.4%	2.5%	8.5%	3.2%	

8. 門真市の好きなところや良いところ

- ・市民では、移動しやすい、親しみやすい、という内容の回答が多かった。
- ・職員では、移動のしやすさに関する回答が最も多い。また、好きなところや良いところがないという回答が26人も見られた。
- ・団体では、親しみやすいという内容の回答が最も多かった。
- ・文化活動や文化資源に関しては、総じて低い回答だった。

	N=	107	348	64	519
項目	市民	職員	団体	総計	
移動しやすい		30	92	7	129
親しみやすい		27	72	19	118
物価の安い		10	42	5	57
景観の良い		6	27	6	39
なし		2	26	4	32
誇れる産品がある		2	16	2	20
買物しやすい		9	12	2	23
活気がある		1	12	3	16
住みやすい		9	11	10	30
文化活動が盛ん		2	7	2	11
行政サービスが良い		0	7	0	7
誇れる企業がある		2	6	0	8
誇れる文化資源がある		1	6	1	8
将来に希望が持てる		0	4	1	5
その他		2	1	1	4
不明		4	7	1	12

単位:件

9. 門真市の嫌いなところや悪いところ

- 総じて、モラルの低さや移動環境(主に歩道の整備)が良くないという回答が多数であった。
- 都市イメージが良くないことや、未来に希望が持てない、などの内容も挙げられていた。

項目	N =				総計
	市民	職員	団体		
モラルが低い		62	122	34	218
移動環境が良くない		24	83	16	123
整然としたまちづくりがされていない		9	55	13	77
財政状況が良くない		14	50	7	71
うるおいがない		14	35	3	52
教育環境が良くない		13	27	3	43
都市イメージが良くない		5	21	3	29
必要な施設が少ない		12	18	3	33
未来に希望が持てない		1	14	0	15
景観が良くない		4	13	2	19
交通利便性が低い		5	9	4	18
文化活動が活発でない		4	8	7	19
外国人と共存しにくい		3	8	2	13
コミュニケーションが不足している		4	7	4	15
なし		1	7	1	9
その他		20	27	7	54
不明		3	14	4	21

単位:件

10. 門真市を一言で言うと

- 総じて、パナソニック関連の回答が多数挙げられた。また、レンコンに関することも比較的多数挙げられていた。
- 特徴がない、住みたくない、ガラが悪い、貧乏なまちなど、「誇りに思えないまち」という良くない印象を抱いている人が多くあった。

	N =	159	332	78	569
門真を一言で言うと	市民	職員	団体	総計	
パナソニックのまち	44	109	27	180	
誇りに思えないまち	30	86	20	136	
庶民的なまち	13	27	1	41	
レンコンのまち	12	21	10	43	
ごちゃっとしたまち	6	17	0	23	
試験場のまち	16	15	1	32	
便利なまち	6	10	4	20	
自転車のまち	0	6	0	6	
希望の持てるまち	2	5	0	7	
モノレールのまち	4	4	0	8	
都会の田舎なまち	5	3	2	10	
総理大臣のまち	2	3	0	5	
チャイナタウン	1	3	1	5	
フィギュアのまち	0	3	0	3	
なみはやドームのまち	2	2	0	4	
その他良いまち	6	13	5	24	
その他	6	4	6	16	
不明	4	1	1	6	

単位:件

11. 門真でイキイキと暮らすために大事なこと(3つまで)

- 公共空間や公共施設の活用の他、イメージの向上やシンボルづくり、子どもの文化芸術環境づくりなどを挙げる割合が総じて高い。また、協働での取り組みを挙げる割合も比較的高くなっている。
- 団体においては活動への金銭的支援を挙げる割合が高くなっている。

	N =			
	134	484	119	737
門真でイキイキと暮らすために大事なこと	市民	職員	団体	総計
まちなかで気軽に文化芸術に親しめるよう、公共空間を積極的に活用すること	18.7%	23.1%	15.1%	21.0%
小学校の余裕教室など未利用施設を活用すること	29.9%	20.5%	32.8%	24.2%
定期的に市内のイベント・講座情報が提供されること	15.7%	9.3%	6.7%	10.0%
参加できる活動や団体の情報が広く提供されること	16.4%	11.8%	20.2%	14.0%
新しく文化的なものをつくり育てること	4.5%	10.5%	5.0%	8.5%
門真のイメージ向上やシンボルづくり	26.1%	34.3%	21.8%	30.8%
文化・芸術資源を積極的に活用すること	3.0%	3.7%	5.0%	3.8%
文化・芸術資源を保存すること	0.7%	6.0%	7.6%	5.3%
子どもの頃から文化芸術に触れられる環境づくり	17.2%	23.3%	21.0%	21.8%
文化・芸術の学習機会が多くあること	7.5%	6.8%	3.4%	6.4%
一流芸術にふれる機会が提供されること	10.4%	7.4%	9.2%	8.3%
市民が積極的に活動に参加すること	9.7%	11.8%	13.4%	11.7%
事業者の積極的な文化活動への参加や支援	2.2%	5.8%	3.4%	4.7%
行政のリーダーシップ	15.7%	12.0%	10.1%	12.3%
さまざまな人が参加した文化・芸術を盛んにする組織づくり	9.0%	6.4%	14.3%	8.1%
市民・事業者・行政が協力して取り組むこと	15.7%	19.2%	15.1%	17.9%
団体同士が交流できる場づくり	0.7%	2.3%	6.7%	2.7%
文化・芸術に関する相談窓口を設置すること	0.7%	0.6%	1.7%	0.8%
アドバイザーによる市民活動の支援・育成	4.5%	5.2%	2.5%	4.6%
文化・芸術活動への金銭的支援	7.5%	6.6%	16.0%	8.3%
その他	5.2%	4.8%	0.8%	4.2%

12. 門真がどのような街であれば住みたいか(2つまで)

- 「安全・安心なまち」が総じて最も多く回答されている。次いで、「緑が豊かで安らげるまち」が多く挙げられている。

	N =	138	475	113	726
住みたい街	市民	職員	団体	総計	
生活の中に文化・芸術がとけ込んだまち	8.0%	9.3%	14.2%	9.8%	
美しい景観が楽しめるまち	15.2%	14.1%	18.6%	15.0%	
緑が豊かで安らげるまち	34.1%	36.4%	27.4%	34.6%	
人々が交流する活気あるまち	13.8%	10.5%	20.4%	12.7%	
教育環境の優れたまち	13.0%	24.2%	11.5%	20.1%	
子どもを育てやすいまち	21.0%	33.5%	23.0%	29.5%	
安全・安心なまち	68.1%	49.5%	64.6%	55.4%	
その他	5.8%	2.1%	3.5%	3.0%	

13. 門真市民であることを誇りに思うか

- 「非常に誇りに思う」と答えた割合は総じて低く、「ある程度誇りに思う」と答えた割合は文化団体で高い割合(約33%)を示している。文化的な活動が市民としての誇りに関係すると予想される。
- 職員では、市民、団体に比較して「非常に誇りに思う」と答えた割合が少ない。「非常に誇りに思う」「ある程度誇りに思う」を合わせた割合でも3者のうち最も低い割合となっている。
(市民約27%、職員約21%、団体約36%)
「まったく誇りに思わない」と答えた割合も職員が最も高く約13%であった。
職員の誇りづくりを進めることが重要であると考えられる。
- 「まったく誇りに思わない」「あまり誇りに思わない」を合わせた割合は市民で最も高くなっている。
(市民約47%、職員約44%、団体約39%)

	N =	175	419	160	754
門真市民であることを誇りに思うか	市民	職員	団体	総計	
非常に誇りに思う	3.4%	2.6%	3.1%	2.9%	
ある程度誇りに思う	24.0%	18.4%	33.1%	22.8%	
あまり誇りに思わない	35.4%	31.0%	33.1%	32.5%	
まったく誇りに思わない	11.4%	13.1%	6.3%	11.3%	
わからない	25.7%	34.8%	24.4%	30.5%	

●誇りに思う理由

- 総じて、これまで住んできたからという理由が多く挙げられていた。

	N =	18	23	16	57
項目	市民	職員	団体	総計	
これまで住んできたから		5	12	7	24
人情味があるから		1	3	4	8
安全なまちだから		1	2	0	3
庶民的な雰囲気が良いから		2	1	0	3
総理大臣を出したことが誇れるから		1	1	1	3
文化的なまちだから		0	1	1	2
期待できるから		0	1	0	1
その他		4	2	1	7
不明		4	0	2	6

単位:件

●誇りに思わない理由

- 市民、職員では、誇れる特徴がないことが多く挙げられていた。また、総じて都市イメージが良くないという内容が多く挙げられていた。

	N =	50	63	20	133
項目	市民	職員	団体	総計	
誇れる特徴がないまちだから		11	16	1	28
都市イメージが良くないから		8	9	4	21
モラルがない人が多いから		6	8	4	18
適切な都市整備がなされていないから		1	5	1	7
貧乏なまちだから		3	4	1	8
教育環境が良くないから		4	3	1	8
安心・安全と感じられないから		4	3	1	8
ごちゃごちゃしているから		2	3	3	8
住んで間もないから		3	3	0	6
文化的ではないから		1	0	0	1
その他		6	7	2	15
不明		1	2	2	5

単位:件